

令和元年度 埼玉県高等学校 PTA 連合会 進路指導専門委員会研修会 参加

開催日 令和元年 11 月 26 日（火） 10:00(受付 9:30)~12:00

開 場 さいたま市民会館うらわ ホール

主 催 埼玉県 PTA 連合会 進路指導専門委員会

参加者 進路指導協力部（2 名）



埼玉県高等学校 PTA 役員、関係者（約 400 名）が集う、子供たちの進路実現を図るための、キャリア教育等に関する認識を深める研修会に参加した。とりわけ、実践発表（学校概要、PTA 活動、進路指導や取り組み）では、貴重な情報が数多く得られた。以下、各高等学校の PTA 活動、特に進路指導に関して紹介したい。

【研究協議 実践発表】

東部支部 埼玉県立春日部高等学校

「春日部高校 PTA による親子で学ぶ進路指導」

PTA では、①進路講演会と②進路見学会を中心に進路に関する事業を行っている。「受験は情報戦」と言われる中、保護者としても正確な情報を把握し、保護者世代の価値観にとらわれることなく、親子で最新の進路状況について学ぶ取り組みを行っている。ただし、高校時代は将来について自分で考える期間でもあるので、過剰に関わることはないよう、適切なアドバイスを、適切なタイミングで、適切な分量だけ、子どもに与えるようにすることが大事で、子どもと適切な距離感を保つことも必要である。子どもたちが学校での学びを最大限に活かせるように、学校と協力し、何が一番大事なことを考えながら、これからも「親子で学ぶ」進路指導に関する活動をしていきたい。

①進路講演会に関しては 2 年前より開催時期を総会後に変更した。その結果、総会の参加者も増え、定員 420 名のホールに入りきらない程に増加。ある年は、親目線から「卒業生の保護者が語る息子の受験体験記」、また、別の年には、生徒目線から「卒業生による進路トーク」という内容で、パネルディスカッションを開催した。親子共通の目標に向かって参加する進路講演会は、アットホームな雰囲気となり、主催者・パネリスト・総会の参加者ともに満足いく事業となっている。

西部支部 埼玉県立新座柳瀬高等学校

「とことん面倒をみる！やなせ～新座柳瀬高校 PTA と進路指導～」

主な進路活動としては「PTA による模擬面接」で、年に 2 回（7 月：就職希望の生徒、9 月：大学や専門学校の推薦試験を受ける生徒）実施。事前に生徒が書いた「自己 PR」「志望動機」を参考に、進路指導の先生方と連携して打合せを行う。打ち合わせの際に質問項目を確認して、その後、PTA による模擬面接を行っている。模擬面接といえども、PTA も生徒も真剣勝負で、本番さながらの質疑応答に実際の面接試験のような緊迫感が生まれている。初対面の PTA 役員を相手に、生徒も先生との面接とは違った緊張感が湧くようだ。なお、この模擬面接などの一連の取り組みは「学校と PTA の連携による進路指導・生徒指導の実践」として、平成 28 年埼玉県教育委員会から「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞。その他、PTA 活動として、朝の登校時に PTA による「朝の声かけ」を先生方と行っている。

南支部 さいたま市立浦和高等学校

「～子どもへの諦めないサポート～」

大学受験に臨むわが子へ親ができることは、「子どもへの諦めないサポート」と考えている。常に「親の目線」で受験を考え、受験を体験した卒業生、保護者の言葉を通して（体験談）、保護者が必要としている情報を少しでも多く集めて伝える。そして、受験に挑む子どもたちの背中を押す、保護者の手助けになればと活動している。主な取り組みとしては4点、①進路公開座談会 ②レッツゴーキャンパス ③先輩を訪ねて ④進路広報誌、編集である。

③の「先輩を訪ねて」では、すでに社会で活躍している先輩から受験だけではなく、「高校の時に将来をどう考えていたのか」など、先を見据えた進路の話をインタビューしている。大学受験は入学することのみが目的ではなく、未来を考えて進路を選択するもの。そこでの先輩（卒業生）の経験談は、大学卒業後の、将来を考えてゆくきっかけとなっているようだ。進路委員としては、子どもだけでは見えなかった部分にスポットをあて、より詳しく広い視野で考えられるようなインタビューを行っている。

■市高のアクティブラーニング「協調学習～知識構成型ジグソー法～授業」の取り組みについて

今、教育機関や教育界が注目している学習法の一つ、アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）に関する、取り組みについての発表もあった。埼玉県が取り組むアクティブラーニングの方針に沿って、生徒が潜在的に持っている学ぶ力を、有効に引き出すことができる学び、「協調学習」を取り入れた授業デザインを用いて、実践しているとのこと。発表では、家庭科のアクティブラーニングの授業を例に、どのような学習法なのか、授業の進め方や、授業を見学しての感想、展望が紹介された。

北部支部 埼玉県立小鹿野高等学校

「地域を担う人材育成とPTAの取組」

地域に愛される学校づくり地域とともにある学校づくりを進めており、県指定事業が10ある。その一つ「次世代を担う産業人材イノベーション事業」では、竹あかりプロジェクトに取り組んでいる。学校の進路指導活動として、インターンシップを実施。PTAの進路実現に向けた取り組みとしては、①上級学校バス見学会（生徒及び保護者）を年に2回実施。見学先では、学校職員の方から丁寧な説明があり、各学校の特色を知ることができる。②生徒の進路指導に向けた支援。上級学校への進学を支援するため、模試等の補助、また、就職活動のため、企業見学や職業適性検査の補助を、PTAが支援している。



【所感】

各高等学校の特性やPTA活動、進路指導についての様々な取り組みを知り、大変参考になった。これからの進路指導協力部の活動に活かしていきたい。また、「アクティブラーニング」の学びは、多様な社会のなかで必要とされる能力（思考力・対話力など）を身に付けるのに有効な学習法だと感じた。一方で、知り得た知識（質や量）に個人差が生じるなど問題点も感じた。この学びに今後も注目したい。

大学入試制度の改革で、受験環境が変化しようとしている中、溢れる情報に惑わされることなく、子どもたちがより良い選択が出来るように、学校・PTA・家庭の連携がとても大切だと痛感した。大学進学、その先の将来、夢の実現や活躍のため、私たち進路指導協力部も先生方と協力し、今、何が出来るか、何が必要かを考えながら、より良いPTA活動になるよう努めたい。 (文責 進路指導協力部)